

人口分析 美郷町の出生率は 1.84 人口安定達成地区も！

今年4月の住民基本台帳から人口分析を行いました。全国的に少子化が進む中、美郷町はなんとか持ちこたえているという結果が出ました。

中でも注目したいのは、

- ☆水清谷区…幼児増加数1位。50代も増↑
- ☆入 下 区…幅広い世代で定住増、安定化達成！
- ☆花水流区…幼児も含め幅広い世代で定住増！
- ☆小 川 区…社会増加率1位！

次回のかわら版で詳細をご紹介しますと思います。

※社会増とは、ある地域への転入数が転出数を上回る状態のこと

速報

「地元学」開催！ in 神門下区

今年もムサビ（武蔵野美術大学）の学生さんが滞在しています。



お昼はさばきたて
焼き立てのウナギ♪



秋イベント

10/18（土）
北郷 入下区
花畑イベント

11/3（月・祝）
北郷 黒木区
コスモス交流会

11/8（土）
西郷 小川区
もちつき大会

11/30（日）
南郷 神門上区
秋の収穫祭

「川に学び、川と共に暮らす」をメインテーマに、地域の暮らしについて教わりました。

天候不良の中、投網の体験



ぼっぼ魚
のしかけ

発表には大勢の方が
来ていただきました



地元の方より
「知らないことがいっぱいありました。
こんなにすごい先生がそばにいたんですね。」
「天気が悪かったので、次は投網に釣かきいっぱい
かかったところを見てほしい。いつでも帰ってきて！」

ちくせん 4コマ マンガ

さく いまふくとしこ

黒木区「納涼ビアガーデン」に子連れで参加



Info

● ちくせん専用ホームページ、ぜひご利用ください！

イベント等のお知らせ、各地区 Instagram との連携も、継続してよろしくお願いします。



かわら版夏号の反響が届いています。

★神門長堀区より、ちくせん物件講習会の依頼がありました。まだまだ受付中です！！

ちくせんかわら版は年 4 回の発行を予定しています。各地区からのお知らせなど、かわら版の情報をお待ちしています

『ちくせん』かわら版

2025秋号

発行：美郷町政策推進室

電話：0982-62-6203

通算 13号

令和 7 年 9 月発行

深掘りちくせん

第2回テーマ 「ちくせんで経済を回す」

予算を活用して地域経済を回す

どう動いたの？どう運営していくの？



黒木区の無人販売所。黒木公民館近く

今回は、ちくせんの予算を活用して、地域の拠点かつ経済を回す場所を生み出した地区を紹介します。今年 8 月にオープンした北郷黒木区の無人販売所「よってみ店」と、秋に稼働する予定の南郷水清谷区無人販売所&レンタルスペースです。「どんなことに予算を使ったの？」

「運営はどうしているの？」「今後の展望は？」など、気になるポイントを教えていただきました。

水清谷区

② 無人販売所&レンタルスペース

秋に稼働予定。ちくせん実行委員会の林田未来さんに教えていただきました。

これまでの経緯

地区内にお金を生む場所があるといえ、以前、居酒屋をしていた場所の改修を提案。許可が下りるまでに約 1 年半かかった。その間、他地域への視察や運営についての規約作りなどを行い、許可が下りた後は、住民の力を借り、修繕作業を行ってきた。レンタルスペースは飲食店登録を進めている。

運営について

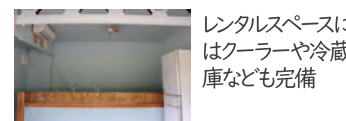
無人販売所は出店者各自で管理。レンタルスペースは、Instagram のビジネスアカウントで発信し、利用者を募る予定。

予算の使い道

- ・ショップ改装（DIY）
- ・家賃（稼働したら利益から出す）



国道 388 号沿い。外観も水色に塗りました



レンタルスペースにはクーラーや冷蔵庫なども完備



無人販売所の台。名産のシギミなども並ぶかも

地区外の方にも使ってもらい、交流できる場所になればと思っています。活用が進んで、地区が元気に明るくなったら嬉しいです。

水清谷
ちゅうちカル



黒木区

① 無人販売所「よってみ店」

ちくせん実行委員・出店者の阿部ひとみさんが教えてくれました。

オープンまでの経緯

当初は古民家を運営しようという話もあったが、ハード事業に取り組むのは難しかった。それでも何か形にできるものを残したいと、小黒木の無人販売所をリニューアルすることに。



みんなて防腐剤やニス塗り



青ユズ。おすすめの使い方がわかるのも嬉しい



宇納間備長炭。取材中にもお客様が！今後は苗なども扱う予定

予算の使い道

- ・無人販売所の製作費（地元の大工さんと一緒に）
- ・のれん（裁縫の得意な方に依頼）
- ・のぼり
- ・ホワイトボード
- ・かご

運営について

初めに回覧板で呼びかけ、説明会を開催。17 軒が登録した。今後は各自が責任を持って運営していく。かごやボードの更新も今後は各自で、のぼりも運営者全員で話し合って交換する。



販売する場所があることで、毎日に張り合いが出ます。今後は出店者の会を開くなど、楽しみながら取り組んでいけるといいと思っています。



のりゆき
奈須宣征 さん

西郷上野原区
ちくせん実行委員会事務局

大学卒業後は東京で会社勤めをしていたが、2018年に帰郷。ちくせんにはグループワークから参加している。地元に戻ってよかったことは「自由な時間が多く温泉なども行けること」。

Q1 ちくせんで印象に残っている活動は？

先日は、盆踊り大会をしました。ミニ縁日では水風船や（おもちゃの）金魚すくいが好評でした。今年は上野原の金柑農家さんから金柑ジェラートのふるまいもあって、皆さん喜ばれていました。イベントのほかには、観音滝の整備をしたり、御田祭で活躍するゴンとゲンの牧場のある梶原地区で花の植栽をしたりしています。ひまわり畑のフォトコンテストも、みんなで頑張ってくれたなあと感じます。



33体の観音像が並ぶ名所・観音滝の整備作業

Q2 ちくせんをやったよかったことは？

いろんな区の見学をしていると勢いがあるなあと刺激になります。上野原ではみんなが集まれる「みのりの館」を整備してベンチやデッキを造りました。造った物が残ってみんなの喜ぶ顔が見られるのは嬉しいですね。

Q3 上野原のいいところは？

つながりが強いところです。1年を通して行事があるので、それが交流のいい機会になっているのかなと思います。元旦は歩こう会、春は草刈り、夏は盆踊り、秋は若宮神社の臼太鼓奉納とそれに向けた練習があって、顔を合わせます。地域の知恵ですね。それぞれの活動も、みんなで協力して熱心に取り組みます。



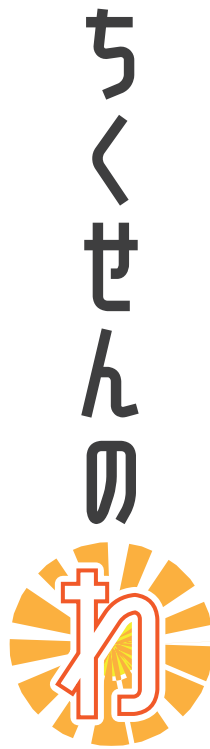
8月13日に行われた「上野原納涼 盆踊り 夏祭り」

Q4 奈須さんが上野原で好きな場所は？

幼い頃から実家では牛を養っていました。日中は梶原の丘に牛を放して、学校帰りによく行っていました。そこから権現山がきれいに見えるんです。畜産はやめました。梶原から眺める権現山は今も一番好きな景色ですね。

Q5 これからどんなことをしていきたいですか？

元々、地区でやってきたことはやりながら、ちくせんならではの動きができたらいと話しています。現在、整備を進めているところの維持管理をするほか、地区の人の困り事が解決できるような活動も考えていきたいです。



ちくせんで繋がる人にスポットをあて、各地区での活躍を紹介します



甲斐理妃 さん

北郷中原区 ちくせん実行委員会

兵庫県出身。地域おこし協力隊として美郷町に移住して4年目になります。炭焼きとして独立し長野地区で活動していましたが、現在は妊娠が分かり産休中です。

Q1 美郷町移住のきっかけは？

宮崎に来るまでは料理の仕事をしていました。高校卒業後、専門学校を出て宿の調理人として働いていたのですが、実は料理よりも山菜や植物を採りに山に入ったり、地域のおじちゃんたちと廃屋を解体したり、焚き火をしている時間の方が好きでした。2年ほどして東京に転勤になると、その暮らしがますます恋しくなりました。4年間勤めて奨学金を返し終えた頃、「もっと山に入り浸り、火をガンガン扱い、地域にどっぷり浸れる暮らしがしたい」と思うように。そんなとき友人に教えてもらった移住サイト「SMOUT」で美郷町の記事を見つけ、日向備長炭のことを知ったのがきっかけです。

Q2 住んでみて感じる魅力は？

空気や水、米や野菜がおいしいこと。東京では肌荒れが治らなかったのに、美郷町に来て何もしていないのに1か月でとてもきれいに治りました。

また、地元の人の知識や技に触れられるのも魅力で、身近にすごい人がたくさんいます。初めて訪れたときは、空がパーッと晴れて山がいろんな色をしていて、人もざっくばらんで面白く、「ここに住めそう」と直感しました。

Q3 ちくせんに関わるきっかけは？

移住して間もない頃に声をかけてもらい、ちくせんの実行委員に入りました。熱い思いで動く人たちの中で、自分にできることから参加するのがいいと考え、よく分からないまま飛び込みましたが、地域に関わる大きなきっかけになりました。

Q4 印象的なイベントは？

花まつりです。コロナ禍で途絶えていた行事でしたが、ちくせんというまとまりがあったからこそ「やってみましょう」と動けたと思います。地元の方が「昔はもっと人が集まってね」と懐かしそうに話してくれたのが印象的でした。



5月7日開催 中原区「花まつり」

Q5 暮らしで大事にしていることは？

挨拶とゴミ出しと草刈り。仕事や生活を通して「こうした方がいいのでは」と思うこともあります。この地域は長い歴史の中で人々が築き上げてきた文化があります。移住しやすい時代に背負うものなく来た自分が軽はずみに言うべきではないと心がけています。そして「ここにずっと住む」と決めたからこそ、昔からの人もこれから来る人も、両方を尊重できるようにあります。それが暮らしで一番大事にしていることです。



イラストにしてくださいました！

Q5 これからやりたいことは？

色々無いものがあって不便ではあるけれど、不幸ではない。お米もとても美味しいし、星が本当にきれい。ここにいると、やったことないことをできるチャンスがあふれていると思います。軽トラを運転したり、米づくりを試みたり。体力をつけるために40代からマラソンも始めました。花が咲けば香りがするし、水の落ちる場所では冷々とする風が吹く。きよきよきよしながら走るのが好きです。この空気や景色がなかったら、走っていません。ただろうなと思っています。

Q4 南郷の魅力はどこなところですか？

デザインしたTシャツを、地域の年配者が嬉しそうに着てくれているのを見ると、本当にやってよかったなと思います。純粋に作ったものを喜んでくれる嬉しさと、Tシャツを通して地区に興味を持ってもらえるきっかけになるのも嬉しいです。

Q3 関わってよかったと思う瞬間は？

デザインしたTシャツを、地域の年配者が嬉しそうに着てくれているのを見ると、本当にやってよかったなと思います。純粋に作ったものを喜んでくれる嬉しさと、Tシャツを通して地区に興味を持ってもらえるきっかけになるのも嬉しいです。

Q2 デザインする上で大切にしていること

一番大切にしているのは「依頼者の気持ち」です。何を、誰に伝えたいのか。たとえば「この地区にはこういう踊りがある」「ここにはこういう良い場所がある」といったことを役員



神門上区のマップ

直接ちくせん実行委員に入っているわけではないのですが、地区民としていろいろな活動に参加しています。ちくせんが始まって「自分の住んでいる地元はどんな魅力があるんだろう、こんな風にアピールしたらいいな」と思うようになりました。そんな中、地区の資源マップやちくせんTシャツを作りたという依頼があり、イラストを描かせていただきました。

Q1 ちくせんのかかわりは？

宮崎市出身。結婚を機に、神門上区へ移り住む。美郷町社会福祉協議会支援員として働きながら、依頼があるとTシャツやキャラクターなどのデザインを作成。文字は書道の得意な娘さんとコラボすることも多い。写真は代表作の「いどころTシャツ」



高木里美 さん
南郷神門上区